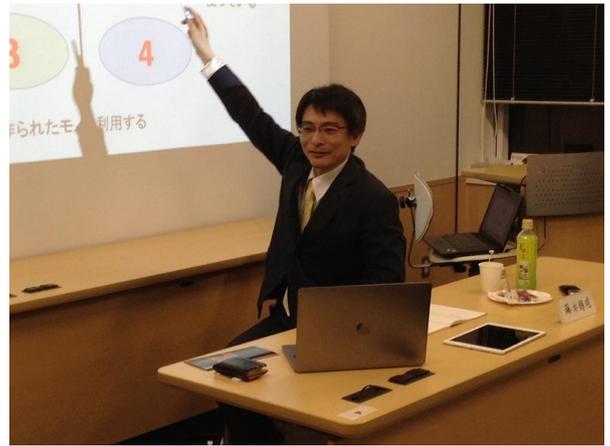


# 「さんか・さろん」ニュース

5月：『私の仕事』シリーズ3  
「コンピューターはフライパン」

講師：藤井 頼暁 (EDI 株式会社)



『私の仕事』3回目の講師は、さんか・さろんの“裏方さん”としてもお馴染みの藤井頼暁さん。コンピューターの世界を、調理の例を用いて、わかりやすくお話しいただいた。(2017年5月16日).....

## 1. 藤井さんの「今の仕事」に至るまで：

コンピューターが子ども時代から自宅にあった藤井さん。ゲームやソフトがなく、プログラムを組んで過ごす。コンピューターはあくまでも趣味。仕事は大手スーパーに就職し鮮魚売り場を担当。でも鮮魚の売り上げ管理の必要性からコンピューターを使うシステムを導入、それが業務に不可欠となった。運送会社に転職しても、廃棄物運送の伝票管理などにコンピューターによる情報管理システムを構築した。

その後 EDI (株) に移り、産業廃棄物の運送をGPS と画像で追跡、不法投棄を予防するためのシステムの構築なども行っている。この技術が震災後の福島県で活用された。除染によって生じた廃棄物の輸送の確認システムを導入、また除染技術の検証なども行ってきた。

## 2. コンピューターを使っていますか？

藤井さんから、コンピューターを「どのように使っているか」「実際に使いこなせているか」の問いかけがあった。それぞれに振り返った。特に「使いこなせているか」の質問に、ハッとさせられた参加者も。使っているつもりでも、

使われてしまっている状況もある。自分の考えや意思などを反映させつつ、目的のためにコンピューターを活用できているか否か。

## 3. コンピューターは調理器具

藤井さんの現在は、IT システム等の開発と個人向けのお手伝い。IT のプログラム開発で、実際発注する利用者と製作者の間には大きな隔りがある。利用者は自分の希望のみを挙げ、実現可能でない要求も少なくない。製作側は利用者側の使い勝手を考えない。双方の真ん中に立ち、意見を取り入れながら関係者がみんな納得するようなものをつくる調整役を担う。

コンピューターの仕組みを調理に例えて話すと、「食べたいもの＝やりたい作業」「必要な道具＝コンピューター」「必要な食材＝必要なソフト」と考えられる。この3つがそろっていても、食べたいもの、すなわちコンピューターでやりたい作業が行えるか。大切なのは、調理のためのレシピ、即ちコンピューター上でやりたい作業に向けた必要な手順であり、このレシピを提供するのも藤井さんの仕事となる。

.....  
日ごろ身近にあるにもかかわらず、実は十分使いこなせていなかったり、仕組みが謎であったり、コンピューター。質疑応答も多く、参加者のみなさんが日々感じている疑問が出て、一つ一つ丁寧に回答いただいた。